

## 一億をこえる数

基礎

かいとう

## 例題 大きな数の読み方

数字は4けたずつ区切って読みます。

2,3756,0000 → 二億三千七百五十六万

右から「一、十、百、千、万、十万、百万、千万、一億…」と数えます。

1 次の数を読みましょう。

(1) **五億**

(2) **三億二千五百万**

(3) **八億五百六十四万**

2 次の数を数字で書きましょう。

(1) **2,0000,0000**

(2) **45,0000,0000**

(3) **320,7000,0000**

ヒント：「億」は0が8こ、「兆」は0が12こです。4けたずつ区切って読みましょう。

## 一億をこえる数

標準

かいとう

1 次の数を読んで、漢字で書きましょう。

- (1) 一億五千万      (2) 七億二千三百四十万      (3) 四十五億八百三十万

2 次の数を数字で書きましょう。

- (1) 8,3000,0000      (2) 2500,0000,0000      (3)  
5,7000,0000,0000

3 □に当てはまる数を書きましょう。

(1) 1億は1万を1万こ集めた数

(2) 1兆は1億を1万こ集めた数

(3) 10億を10倍すると100億

ポイント：1億 = 1万 × 1万、1兆 = 1億 × 1万です。

# 一億をこえる数

応用

かいとう

1 東京スカイツリーは、2012 年のオープンから約 3000 万人が来場しました。

(1) 3000 万人を数字で書きましょう。

**3000,0000**

(2) 3000 万人は、100 万人の何倍ですか。

**30 倍**

2 日本の人口は約 1 億 2500 万人です。

(1) この数を数字で書きましょう。

**1,2500,0000**

(2) 日本の人口を「約 1 億人」と表すとき、何万の位で四捨五入していますか。

**千万の位**

3 東京都の 1 年間の予算は約 8 兆円です。

(1) 8 兆円を数字で書きましょう。

**8,0000,0000,0000**

(2) 8 兆円は、1 億円の何倍ですか。

**8 万倍**

ポイント：大きな数は、人口や予算など身の回りでたくさん使われています。

# 一億をこえる数

思考力

かいとう

1 たくやさんは 3 億を「300000000」と書きました。

たくやさんの答え      3 億 = 300000000

(1) たくやさんの答えは正しいですか。正しくなければ正しい答えを書きましょう。

**正しくない。正しくは 3000000000 (3,0000,0000)**

(2) たくやさんはどこをまちがえたと思いますか。せつめいしましょう。

**(例) 0 の数が 1 つ足りない。億は 0 が 8 こ必要。**

2 次の 2 つの数をくらべて、>、<、= を入れましょう。

(1) 99999999 < 1 億      (2) 1000 億 = 1 兆

3 次の問題に答えましょう。

(1) **10 億**

(2) **1000 億**

(3) 1 万を何倍すると 1 億になりますか。 **1 万倍**

ポイント：位が 1 つ上がると 10 倍、1 つ下がると 10 分の 1 になります。

## 一億をこえる数

まとめ

かいとう

1 次の数を読んで、漢字で書きましょう。(各 10 点)

(1) 4,0000,0000

四億

(2) 23,5600,0000

二十三億五千六百万

(3) 800,0000,0000

八百億

2 次の数を数字で書きましょう。(各 10 点)

(1) 七億

7,0000,0000

(2) 五十億三千万

50,3000,0000

(3) 二兆

2,0000,0000,0000

3 □に当てはまる数を書きましょう。(各 15 点)

(1) 100 万を 100 倍すると□

1 億

(2) 1000 億を 10 で割ると□

100 億

4 日本の人口は約 1 億 2600 万人です。

この人口を「約□億人」と表すとき、□に入る数を  
答えましょう。(10点)

**1 (四捨五入して約1億人)**

# 【単元のポイント】

## 一億をこえる数

4年生 算数 第1単元

### 学習指導要領（平成 29 年告示）の目標

#### 【A 数と計算】A(1) 整数の表し方

億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深めること。また、整数を 10 倍、100 倍、1000 倍したり、10 で割ったりしたときの大きさの表し方を理解すること。

### ◆ 評価の 3 観点における目標

#### 【知識・技能】

- ・ 億・兆の単位を知り、それを用いて数を読んだり書いたりできる
- ・ 十進位取り記数法の仕組みを理解している
- ・ 整数を 10 倍、100 倍、1000 倍、10 分の 1 にした数を求められる
- ・ 四捨五入によるがい数の表し方を理解している

#### 【思考・判断・表現】

- ・ 数の相対的な大きさについて考えることができる
- ・ 日常生活で使われる大きな数について考察できる
- ・ がい数の活用場面を判断できる

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ・ 身の回りの大きな数に関心をもっている
- ・ 数の仕組みを生活に活かそうとしている

## ◆ 指導上の留意点（学習指導要領解説より）

### 1. 十進位取り記数法

- 一、十、百、千、万、十万、百万、千万、一億…と4桁ごとにまとまる
- 各位の数字は0～9の10種類
- 位が1つ上がると10倍になる仕組みを理解させる

### 2. 億・兆の単位

- 1億 = 10000万 = 100000000（0が8つ）
- 1兆 = 10000億 = 1000000000000（0が12つ）
- 日本の人口、国の予算など具体例で実感させる

### 3. 10倍、100倍、10分の1

- 10倍すると位が1つずつ上がる（右に0が1つ増える）
- 100倍すると位が2つずつ上がる（右に0が2つ増える）
- 10で割ると位が1つずつ下がる（右端の0が1つ消える）

### 4. つまづきやすいポイント

- 数字を読むときに位取りを間違える（特に千万と一億の境目）
- 0の数を数え間違える
- 10倍と10分の1を混同する
- 四捨五入する位を間違える

## ◆ プリント作成時の配慮事項

1. 4桁区切り：数字は4桁ごとに区切って読みやすくする
2. 位取り表：一、十、百、千…の位取り表を活用する
3. 具体例：人口、距離、予算など身近な大きな数を使う
4. 段階的：万→億→兆と段階的に扱う
5. 数直線：数の大小関係を視覚的に理解させる